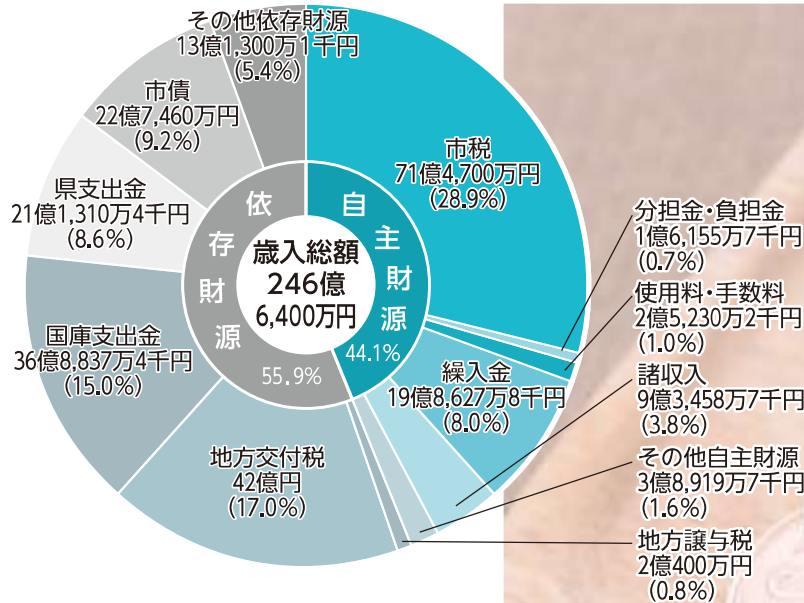


一般会計の歳入



- ▶ 地方交付税 … 財政力に応じて国から交付されるお金
- ▶ 国庫支出金 … 国が用途を特定して交付するお金
- ▶ 県支出金 … 県が用途を特定して交付するお金
- ▶ 市債 … 建設事業などに充てるための借入金

令和2年度 鳴門市の予算

2月19日から3月17日までの28日間の会期で開かれた市議会第1回定例会で、令和2年度当初予算が決まりました。今回は予算の概要のほか、重点的に取り組む事業をそれぞれのテーマに分けて紹介します。

問 財政課 ☎088・684・1221

厳しさを続ける財政状況

本市の財政状況は、人口の減少などにより歳入の根幹をなす市税の増収が見込めない中、歳出面では、社会保障関係費が増加傾向にあるなど、依然として厳しい状態が続いています。

また、新庁舎建設事業や道の駅「なると」(仮称)整備事業などの大規模事業を控えていることから、財政需要を的確に見込み、将来を見据えた財政運営に取り組む必要があります。

こうしたことから、令和2年度当初予算では、道の駅「なると」(仮称)整備事業などの市政発展に資する事業に対し、引き続き積極的な予算配分を行うとともに、「なると」未来づくり総合戦略2020に掲げる重点事業を着実に実施し、本市の将来をしっかりと見据えたまちづくりが着実に推進できるよう予算編成を行いました。予算総額は24.6億6,400万円で、前年度と比較して1.6%の増となっています。

歳入

歳入の主なものとしては、市税が71億4,700万円(前年度比1.4%減)で全体の28.9%

歳出

を占め、地方交付税17.0%、国庫支出金15.0%などとなっています。市債は、道の駅「なると」(仮称)整備事業や公民館耐震化推進事業などに係る発行見込額の増などにより、22億7,460万円(前年度比17.4%増)を計上しました。

なお、地方消費税の引き上げに係る地方消費税交付金の増分(社会保障財源化分)は、扶助費などに充当しています。

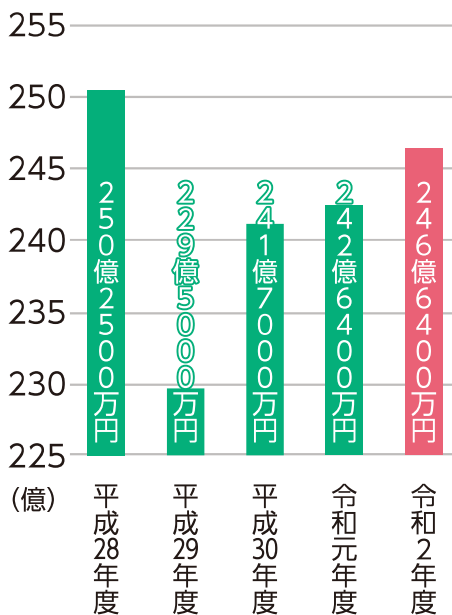
※詳細は市公式ウェブサイト「市政の情報」市の財政↓予算について」に掲載。

人件費と扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、扶助費が、生活保護扶助費の減などにより減少しているほか、公債費についても長期債利子の減などにより減少しています。しかし、人件費が会計年度任用職員制度の導入に伴い増加しており、全体で13.8億6,179万2千円(前年度比3.8%増)となっています。

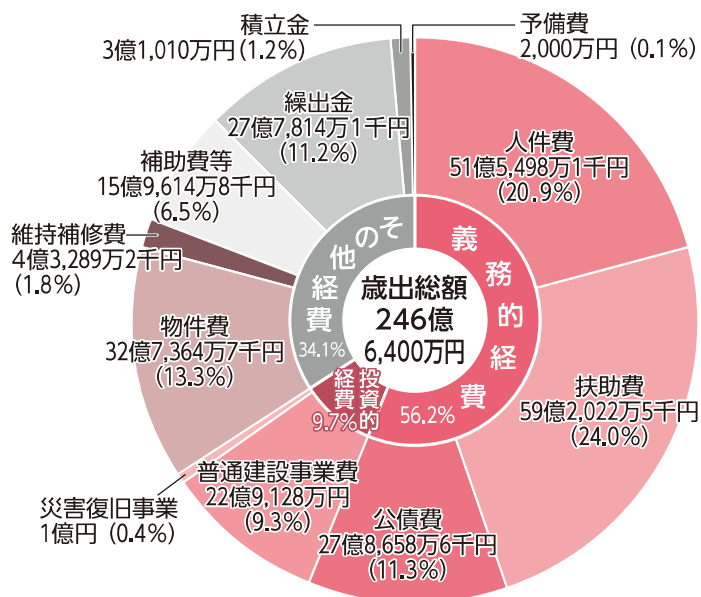
投資的経費は、道の駅「なると」(仮称)整備事業や公民館耐震化推進事業の増などにより、23億9,128万円(前年度比36.3%増)となっています。積立金は、減債基金や庁舎整

過去5年

一般会計 当初予算の推移



一般会計の歳出



- ▶ 義務的経費 … 人件費や借入金返済など、必ず支払わなければならないお金
- ▶ 扶助費 … 生活保護費や子ども・高齢者・障がい者の支援に必要な経費
- ▶ 公債費 … 市債の返済に充てる元金と利子
- ▶ 投資的経費 … 道路整備や施設建設、災害復旧などに使うお金
- ▶ 物件費 … 消耗品・光熱水費などの消費的性質を持つ経費

令和2年度 一般会計当初予算額

246億6,400万円 (前年度比 4億円増)

特別会計予算(歳入・歳出)

特別会計項目	当初予算金額	前年比
国民健康保険事業	73億2,576万円	5.2%減
後期高齢者医療	9億5,764万円	6.0%増
介護保険事業	66億8,835万円	2.1%増
光熱水費等支出	5億9,764万円	5.2%減
給与費等管理	51億158万円	0.7%増
公債費管理	27億8,408万円	12.2%減

企業会計予算(歳出のみ)

企業会計項目	当初予算金額	前年比
水道事業	20億7,040万円	11.1%減
モーターボート競走事業	423億5,730万円	29.7%増
下水道事業	14億6,605万円	

備基金への積立金の減などにより、3億1010万円(前年度比63・1%減)となっています。

また、主な事業としては、道の駅「なると(仮称)」整備事業、ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業、小中学校特別教室等空調設備整備事業、教育機器整備事業(校内LAN整備)、消防団詰所耐震化推進事業、公民館耐震化推進事業などを予定しています。

※左表参照(千円未満切り捨て)。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、予算を使用する用途が限定されており、一般会計予算と区別して行われています。企業会計は、事業収入による会計です。本市には、水道、ボートレース、下水道の3つの事業があります。

特別会計・企業会計予算

うきうき

活力と魅力あふれる

まちづくり

令和2年度当初予算

重

点

事

業

道の駅「なると(仮称)」整備事業 …3億1,926万円

定住人口確保と交流人口拡大に向けた四国のゲートウェイ推進事業の基幹施設として、鳴門市大津町の国道11号沿いに道の駅「なると(仮称)」を整備します。令和3年度末の開駅に向けて、起業地の拡張に伴う用地取得を行うほか、建築に係る実施設計や造成工事などを行います。



※画像はイメージです。

四国のゲートウェイ推進事業 …1,350万円

名実ともに鳴門市が四国の玄関口となるべく、民間団体などと協力し、四国内外から集客できるイベントを支援するとともに、PR動画によるシテッププロモーションを行います。



ASAトライアングルを結ぶ サイクリングツーリズム推進事業 …2,455万円

ASAトライアングル(鳴門市・南あわじ市・東かがわ市)の3市を結ぶサイクリングツーリズム事業を推進し、サイクリスト支援などを通じて、地域活性化と市民の健康づくりを促進します。



文化会館耐震化推進事業 …200万円



文化会館の耐震化を検討するに当たり、必要となる施設の改修や防災面の強化などに向けた事前調査を行います。

※令和3年4月から休館予定。



ユネスコ「世界の記憶」 登録推進事業 …308万円

板東俘虜収容所に関する資料のうち、ドイツ兵が製作した印刷物や写真など、歴史的交流により残された収容所での貴重な活動記録をユネスコ「世界の記憶」に登録することを目指します。



ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり



子育て環境や就学前教育・ 保育環境充実のための事業 …5,929万円

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、就学前教育・保育施設に通う児童に対し、市独自に給食の副食費の軽減を行います。また、「子ども食堂」や「学習支援」など子どもの居場所づくりを行う団体への補助、予防接種事業の支援拡充などを通じて、子育て環境のさらなる充実を図ります。



KOBA式体幹☆バランス トレーニング普及推進事業 …426万円

体幹バランストレーニングの第一人者で、有名スポーツ選手のトレーナーも務める木場 克己氏による体幹バランストレーニングの普及を通じ、市民の健康づくりとスポーツ技能向上を図ります。



基幹相談支援センター 運営事業 …1,000万円



障がい者の高齢化や「親なき後」を見据え、地域生活支援を推進するため、令和2年度末までに地域生活支援拠点などの整備を計画しており、その中心となる基幹相談支援センターを設置します。



小中学校の教育環境 の充実…1億7,605万円

(うち、3月補正予算額 1億6,985万円)



■特別教室等空調設備整備事業

特別教室(理科室、音楽室、美術室、図画工作室など)への空調整備に向けた設計を行います。



■教育機器整備事業(校内LAN整備)

高速かつ大容量の通信ネットワーク(校内LAN)を普通教室や特別教室などに整備します。



就学援助制度による支援の拡充 …4,827万円

経済的な理由によって就学困難な小中学生の保護者に対して、学用品など必要な支援を行います。令和2年度は、新たにPTA会費、卒業アルバム代等を支給費目に追加します。



しっかり

安心・快適

住み良いまちづくり



消防団詰所耐震化推進事業 … 1億6,718万円

「消防団詰所耐震化計画」に基づき、耐震基準を満たしていない分団詰所の耐震化を推進し、吉永・中江分団と折野分団の詰所新築工事、備前島分団詰所の耐震改修工事などを実施します。



いぬねこ愛護推進事業 …102万円

飼い主のいる犬・猫に加え、新たに飼い主のない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助することで、人と動物との調和の取れた共生社会の実現と、市民の快適な生活環境を保持します。



地震等災害対策普及啓発事業 など …995万円

南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、防災イベントの実施や自主防災組織の活動に対する支援、日常から自然と災害に備えている状態を目指す「フェーズフリー」の概念の啓発を進めます。



フェーズフリーグッズ

公民館耐震化推進事業 … 2億3,669万円

地域の生涯学習の拠点施設である堀江公民館を旧大麻学校給食センター西側の市有地に新築移転します。令和2年度中に新築工事に着工し、令和3年度の利用開始をめざします。



令和2年 市議会第1回定例会報告

問 総務課 ☎088・684・1124

2月19日から3月17日までの28日間の会期で第1回定例会が開かれ、令和2年度当初予算案など34議案、人事案件2件について、それぞれ審議され、原案どおり可決・同意されました。

【主な条例案】

鳴門市暴力団排除条例の制定について

社会全体で暴力団の排除を推進し、安全で平穏な市民等の生活の確保と社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に、暴力団排除に係る基本理念等を定めた条例を制定しました。

【人事案件】

固定資産評価審査委員会委員の選任と人権擁護委員の推薦について次の方が同意されました。

●固定資産評価審査委員会委員

玉井 京子氏(立岩・70歳・再任)
原 孝仁氏(高島・58歳・再任)
樋上 義彦氏(明神・61歳・新任)
森北 伸年氏(姫田・70歳・再任)

●人権擁護委員

中野 幸一氏(堂浦・63歳・新任)
林 恭子氏(木津・61歳・新任)

おおきく躍動 みんなで創る まちづくり



新庁舎建設事業 …1,016万円

新庁舎建設に向けて、オフィス環境整備事業を継続するほか、建築家・故増田 友也氏が手掛けた市民会館を解体撤去するに当たり、詳細図面の作成などを行うアーカイブ事業を実施します。

文書管理制度再構築事業・ ペーパーレス会議システム 導入事業…1,052万円

文書量の削減や業務の効率化を図るため、文書管理制度を再構築します。

また、これまで紙資料が中心であった各種会議や庁内協議などで、ペーパーレス会議システムを導入することによる事務改善を図ります。

「ふるさと納税寄附金」 推進事業 …1億6,190万円

記念品の拡充やポータルサイト窓口の充実を図りながら本市の魅力をPRし、寄附者の増加を図ります。また、ガバメントクラウドファンディングの事業募集を実施します。



「なると家」の家計簿

予算を身近に感じていただくため、令和2年度の当初予算(246億6,400万円)を5千分の1に換算して、家計簿に置き換えてみました。すると、「なると家」の家計の総額は昨年度より8万円アップの493万円になります。

借入金是不動産の購入代(道の駅「なると(仮

称)」整備事業や公民館耐震化推進事業など)の増に伴って増額となっています。また、収入総額のうち、大部分を親からの仕送りが占めていることが見て取れます。

支出を見ると、子どもへの仕送りが減ったものの、食費や生活費などが伸びています。

■収入

給 料 [市税、地方譲与税]	147万円(149万円)
親からの仕送り [国・県支出金、地方交付税など]	226万円(223万円)
家業収入 [使用料・手数料など]	8万円(10万円)
家賃収入 [財産収入、貸付金収入など]	26万円(26万円)
貯金の取り崩しなど [繰入金]	20万円(19万円)
借入金 [市債、他会計借入金]	66万円(58万円)
合 計	493万円(485万円)

※令和2年度一般会計当初予算を5千分の1に換算して表記しています。()内は前年度の額。

■支出

食 費 [人件費]	103万円(91万円)
介護・育児・医療費 [扶助費]	118万円(119万円)
生活費 [補助費等、物件費など]	98万円(95万円)
自宅の修理代 [維持補修費、災害復旧費]	11万円(10万円)
不動産の購入代 [普通建設事業費]	46万円(33万円)
子どもへの仕送り [他会計への繰出金など]	55万円(64万円)
借入金の返済 [公債費]	56万円(56万円)
貯 金 [積立金]	6万円(17万円)
合 計	493万円(485万円)